



# 進学で減額やめよ

## 吉良氏 生活保護問題ただす

日本共産党の吉良富彦高知県議は7日の県議会で子どもの貧困問題などをただしました。

尾崎正直知事は「必要とあればさらに政策提言していく」と答えました。

吉良氏はまた、「2016年12月から17年2月に行われた高知県子どもの生活実態調査は、政府が示した25の指標だけでなく、より具体的な実態調査で、

厳しい環境にある子どもたちの実態に即した計画を策定し、貧困対策のすみやかな施策をはかることを目的に行われた」と評価し、子どもたちの実態を共有し、貧困を克服する合意がはかられるよう、

実態調査報告会やシンポジウム、研究者を招いた講演会の開催などを提案しました。尾崎知事は「大変、有意義だ」とのべ検討を約束しました。

高知県議会

しんぶん 赤旗より



保護費が減額される。とする研究者の調査結果や、進学した本人の奨学金借入額が学全体平均の3倍以上になり、アルバイトのし過ぎで体調を崩す例もあるとし、「進学を断念させる世帯分離をやめ、世帯内就学への転換を図るべきだ」と強調しました。

吉良氏は、生活保護は就労が原則で、子どもが進学する場合、親と「世帯分離」しなければならぬ問題をとり上げました。世帯分離で月3万円以上、

尾崎正直知事は「必要とあればさらに政策提言していく」と答えました。

吉良氏はまた、「2016年12月から17年2月に行われた高知県子どもの生活実態調査は、政府が示した25の指標だけでなく、より具体的な実態調査で、

厳しい環境にある子どもたちの実態に即した計画を策定し、貧困対策のすみやかな施策をはかることを目的に行われた」と評価し、子どもたちの実態を共有し、貧困を克服する合意がはかられるよう、

実態調査報告会やシンポジウム、研究者を招いた講演会の開催などを提案しました。尾崎知事は「大変、有意義だ」とのべ検討を約束しました。

### 安倍内閣は退陣せよ

### 日曜市で大きくアピール

疑惑の本丸は安倍首相夫妻そのもの！森友公文書改ざんの徹底的な真相究明で内閣総辞職へ追い込もう！

18日の日曜日、公文書を都合よく改ざんするなどは独裁国家への入り口、法治国家ではありえない。佐川氏だけでなく、安倍首相夫人の証人喚問を自民、公明の与党は求めよと訴えました。

観光客などで賑わう日曜日、手を振って激励する人や最後まで熱心に聞く人など、関心は高い。写真は左から下本、岡田両市議そして、県議の私、島崎県委員と



### 細木市議です。

### ●今も活躍している井戸

安倍9条改憲ノーの3千万署名で南久万地域をまわっていると、目に飛び込んできた懐かしい井戸。家の外回りの水は、全て井戸水を使っています。

奥様。災害時に断水に安心してすね。

### ●今も活躍している井戸

